

## 平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	17. 日本遺産活用推進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第4章	明日へつながるまちづくり	5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	0		基本施策5	歴史・文化資産の保全・活用	平成28年度	0
			平成29年度	2,916						
			平成30年度	9,441						
			平成31年度	8,112						
							施策1	歴史・文化を普及します	平成32年度	5,850

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	2,600	
本年度当初査定額	7,514	8,645

財源内訳	繰入金					その他	一般財源
本年度当初要求額	0					2,600	△2,600
本年度当初査定額	7,514					0	1,131

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) ・日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会へ参加します。</p> <p>・日本遺産サミット(富山県高岡市)に参加します。</p> <p>・城下町佐倉の祭礼用具の修復、佐倉囃子の普及啓発を通じて地域の活性化を図ります</p> <p>・「古今佐倉真佐子」現代語版編集作業を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・日本遺産のブランド力を高め、北総四都市の歴史・文化資産を活用することで、地域を活性化すると同時に、城下町佐倉をよく知り愛着を持つ人の増加を図ります。</p>	<p>(事業の効果) ・「城下町佐倉」のイメージが向上します。</p> <p>・外国人観光客をはじめとする交流人口が増加します。</p> <p>・佐倉を訪れたい、住みたい、住んでいてよかったと感じる人びとが増加します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・日本遺産の活用には観光・シティプロモーションとの連携が不可欠です。</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項) ・文化振興積立基金を導入します。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	200	0	200
09	136	139	△3
11	245	312	△67
12	500	0	500
19	7,564	50	7,514

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
		18	01	01	01	04	00	文化振興積立基金繰入金	2,600	7,514	1,000
差引一般財源								△2,600	1,131	△1,000	2,131